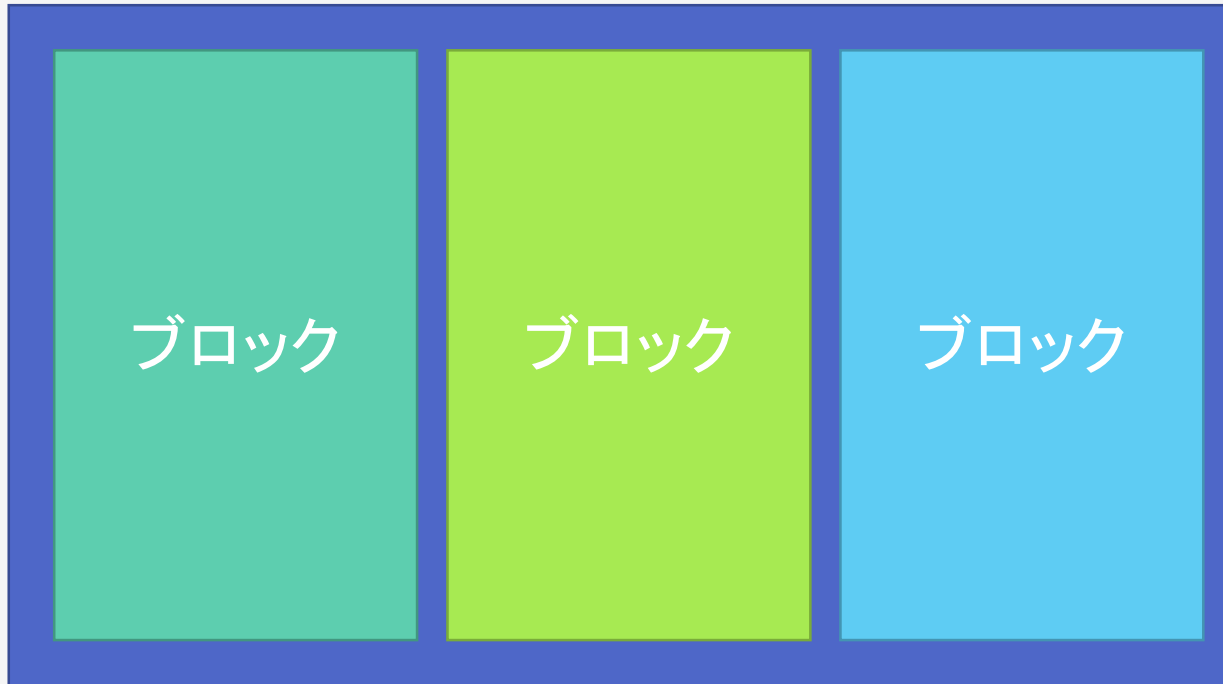


flexbox



```
.wrapper{  
    display:-webkit-box;  
    display:box;  
    display:-webkit-flexbox;  
    display:flexbox;  
    display:-webkit-flex;  
    display:flex;  
}
```

- ブロック全体を括るブロックにflexプロパティを設定
- 囲われた中にある要素が横並びになる
 - 高さも一番高くなる物に合わせてくれる
 - float解除は不要

flexboxの利用

- flexboxはCSS3からサポート
 - CSS3のサポート状況はブラウザによって異なる
 - InternetExplorerの古いバージョンなどはサポートしていない
 - 古いブラウザを切り捨てるのであれば、問題なし（IE10からはサポート）
- スマートフォンならまず対応しているので、こちらを利用しない手は無い

flexboxで改行

- flexboxのデフォルトは1行で収まるように調整される
 - 内部要素に幅が指定されていても無視されて1行で収まるように調整されてしまう

```
-webkit-box-lines:multiple;  
-moz-box-lines:multiple;  
-webkit-flex-wrap:wrap;  
-moz-flex-wrap:wrap;  
-ms-flex-wrap:wrap;  
flex-wrap:wrap;
```

- これを記述することで、1行に収まらない場合は改行されるように変更される

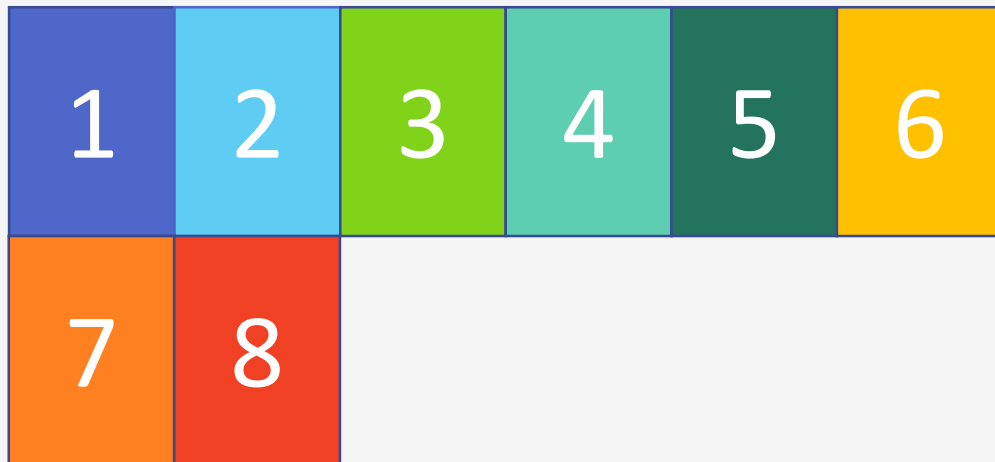
flexboxの利用

- flexboxを利用するとカラムを楽に作成可能
 - `display:box`などを指定
 - MediaQuery内などで解除する場合は、`display:block`でOK
 - 崩れにくい、順番を任意に入れ替えることが可能、子要素の大き
さで改行有り・なしにすることが可能など多数利点
- `display:inline-block`を使う手も
 - `inline`だが、`block`レベルという意味不明な指定
 - `inline`＝横並びが可能、`block`＝幅指定とかが可能
 - 横並びにしたい要素自体に指定し、幅を指定することが可能
 - 幅が収まらなければ勝手に改行される

flexboxのいろいろ



- `display: flex`で横並び



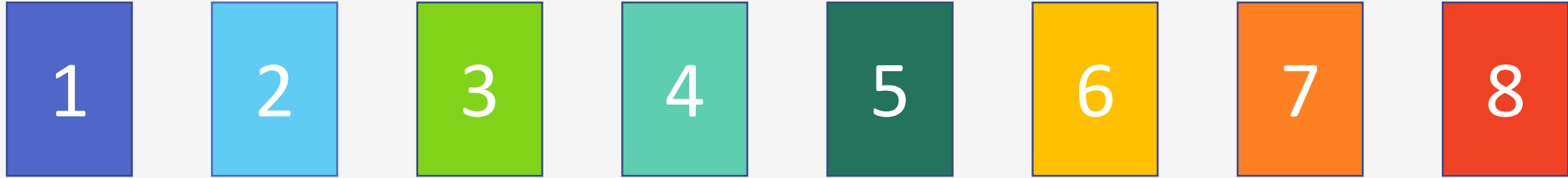
- `flex-wrap: nowrap`→改行を許可しない（デフォルト）
 - ： `wrap`→改行を許可する
 - ： `wrap-reverse`→改行を許可するが、改行された行を先に表示する

flexboxのいろいろ



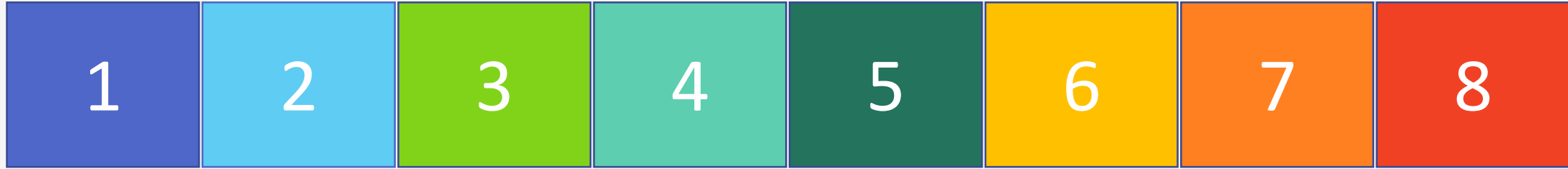
- flex-direction : row→左から右へ配置 (デフォルト)
 - : row-reverse→右から左へ配置
 - : column→上から下へ配置
 - : column-reverse→下から上へ配置

flexboxのいろいろ



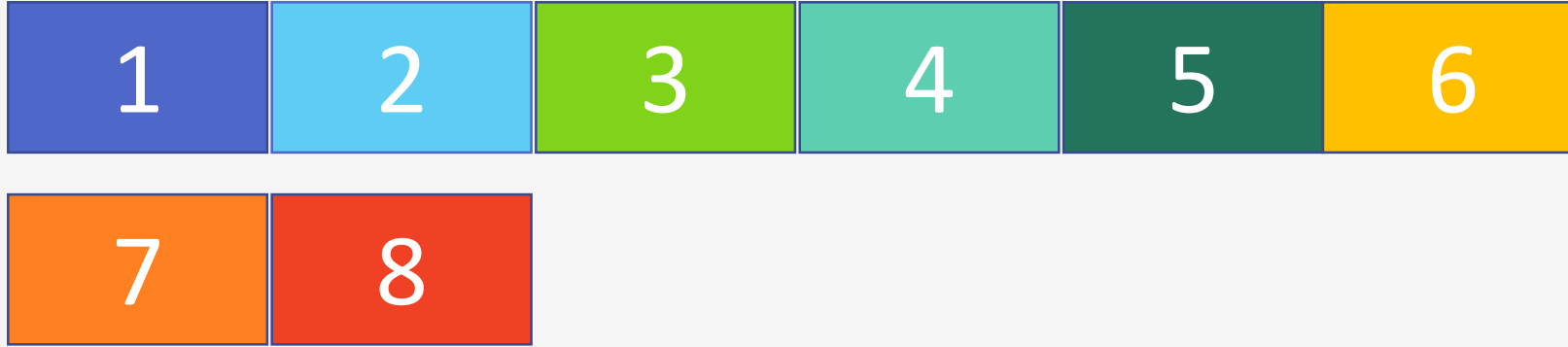
- justify-content : flex-start→左寄せ（デフォルト）
: flex-end→右寄せ (reverse系が入っていると左寄せ)
: center→中央寄せ
: space-between→最初と最後を両端に配置して残りは均等配置
: space-around→すべてを均等配置

flexboxのいろいろ



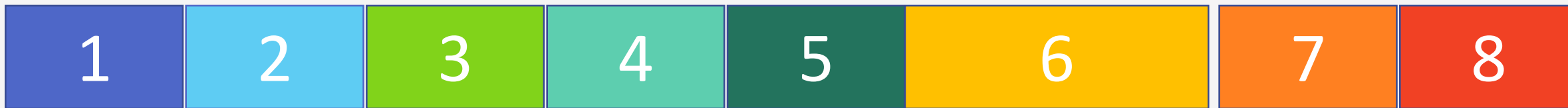
- align-items→垂直方向の位置指定
 - ： stretch→親要素のサイズに合わせて拡大する
 - ： flex-start→親要素の上側に配置
 - ： flex-end→親要素の下側に配置
 - ： center→親要素の中央寄せ
 - ： baseline→中の文字のベースラインに合わせて配置

flexboxのいろいろ



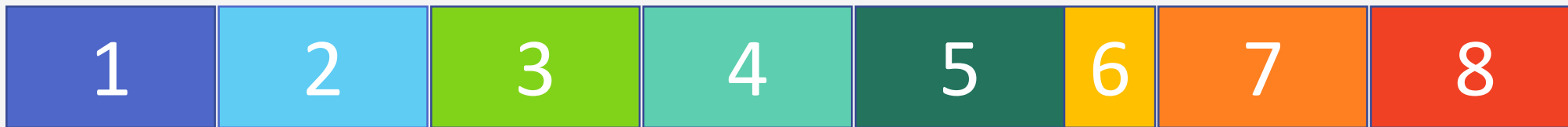
- align-content→垂直方向の配置位置（flex-wrap:wrapのとき）
 - : stretch→親要素のサイズに合わせて子要素を拡大し、敷き詰める
 - : flex-start→親要素の上側に配置
 - : flex-end→親要素の下側に配置
 - : center→親要素の中央寄せ
 - : space-between→最初と最後の子要素を上下の隙間を取らずに配置し、残りの子要素を均等に間隔を開けて配置
 - : space-around→上と下に隙間をとって均等に間隔を開けて配置する

flexboxのいろいろ（子要素に指定）



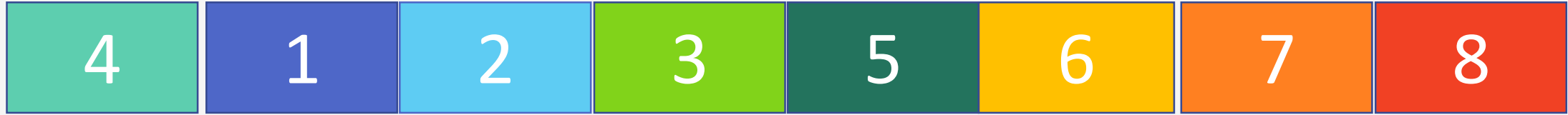
- flex-grow：子要素の大きさを指定
：数字で指定。他の要素と比べての相対的な大きさを指定。0がデフォルト

flexboxのいろいろ（子要素に指定）



- flex-shrink：子要素の小ささを指定
：数字で指定。他の要素と比べての相対的な
小ささを指定。1がデフォルト、0で縮小しない

flexboxのいろいろ（子要素に指定）



- order：順番を整数で指定（負数を指定可能）
0を指定するとデフォルトの位置に配置される。数が低いほど最初の方に指定され、高い物ほど後の方に配置される
他の子要素にorderプロパティを指定しなければ1を指定すれば後の方に配置される